

官報

號外

明治三十年二月二十七日

土曜日

內閣官報局

第十回 貴族院議事速記録第十二號

○帝國議會 貴族院議事速記録第十二號

明治三十年二月二十六日(金曜日)午前十時十五分開議
議事日程 第十二號 明治三十年二月二十六日
午前十時開議

- 第一 明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案(總追第五號)審查期限ヲ定ムルノ件
- 第二 明治二十九年年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第二號)審查期限ヲ定ムルノ件
- 第三 明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案(總追第六號)審查期限ヲ定ムルノ件
- 第四 北海道國有未開地處分法案(政府提出)
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 北海道鐵道豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 公立圖書館費國庫補助法案(外山正一君發議)
- 第九 古墳墓保護ニ關スル建議案(外山正一君發議)

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(有賀書記官朗讀)

去二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

鐵道公債及事業公債利子支拂期改正法律案臺灣總督府特別會計法案

去二十三日外山正一君ヨリ七十名ノ贊成ヲ以テ公立圖書館費國庫補助法案ヲ發議セラレタリ

同日外山正一君ヨリ三十九名ノ贊成ヲ以テ古墳墓保護ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

同日政府提出明治二十七年年度歲入歲出總決算、明治二十七年各特別會計歲入歲出決算、明治二十七年年度歲入歲出檢查報告ヲ受領シタリ

同日左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
北海道國有未開地處分法案

北海道鐵道豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

一昨二十四日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案(總追第五號)
明治二十九年年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第二號)
明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案(總追第六號)
鐵道敷設法中改正法律案

貴族院議事速記録第十二號

明治三十年二月二十六日

議長ノ報告

高等教育會議規則ニ關スル質問書ニ附テノ説明

七五

同日衆議院提出祿高整理公債法案ヲ受領シタリ

昨二十五日衆議院提出家祿賞典祿處分法案ヲ受領シタリ

同日子爵谷干城君、久保田讓君ヨリ四十四名ノ贊成ヲ以テ高等教育會議規則ニ關スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ即日政府ニ轉送シタリ

資格審查委員會ニ於テ男爵榊取素彦君委員長補選ニ當選セラレタリ

市制町村制水利組合條例及地方學事通則ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ委員長ニ子爵鍋島直彬君、副委員長ニ男爵渡邊清君當選セラレタリ

○子爵京極高德君 本員ハ是ヨリ豫算分科會へ出タウゴザイマスガ退席シテモ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今御退キニナリマシテハ定足數ニ響キマスカラ暫ク……

○久保田讓君 本員等ヨリ提出致シマシタル質問書ニ就イテ少シ理由ヲ述べタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(久保田讓君演壇ニ登ル)

○久保田讓君 諸君御承知ノ如ク高等教育會議規則ハ昨年勅令第三百九十號ヲ以テ發令ニナリマシテゴザイマスガ其規則ニ關シテ本員等ヨリ質問書ヲ提出致シマシタルニ就キマシテ提出者ノ一人トシテ少シ此理由ヲ説明致シテ清

聽ヲ煩ハサウト思ヒマス、其前ニ當ッテ質問ノ趣意書ノ大略ヲ申上ゲマス高等教育會議ノ要ハ「高等教育會議ノ要ハ廣ク教育社會ノ輿論ヲ開クニ在ルカ

故ニ其組織ハ教育社會全體ヲ代表スルニ足ルヲ要スヘシ、然ルニ今度發令セラレタル高等教育會議規則ハ其組織頗ル不完全ニシテ前段ノ旨趣ニ適合セ

サルカ如シ、政府ハ之ヲ以テ教育社會ノ輿論ヲ開クニ足リ隨テ高等教育會議ヲ設ケタル目的ヲ達スルニ足レリト信スル乎將タ漸次該規則ヲ修正シテ遂ニ

完全ノ組織トナサントスルノ意ナル乎」右質問ニ及ブト云フ趣意デゴザイマス、ソレデ此高等教育會議ハ第八議會ニ於テ貴族院及衆議院ヨリ其設立ノコ

トヲ政府ニ建議ヲ致シマシテ第九議會ニ於テハ數回之ヲ政府ニ促シマシタ

所ガ政府ハ一タヒハ之ヲ以テ文部省ノ行政權ヲ侵スモノトシ一タヒハ是ヲ以テ必要ナラズトシテ此建議ヲ拒絕セラレマシタ而シテ文部ノ施政ト云フ

モノハ其後ドウ云フコトデアアルカト云フト矢張同シトシテ倍々振ハナイ教育

事業ハ段々ト遅クテ往クト云フヤウナ有様デアアル依テ教育社會ハ殆ド失

望ヲ致シタノデアリマス依テ我々ハ政府ガ愈々議院ヲ容レズ且ツ教育會ノ希望ヲ顧ミヌト云フコトデアレバ已ムヲ得ズ本年ノ會議ニ於テハ立法

マデ決心ヲ致シタノデアリマス然ル所內閣ノ變動ニ因リマシテ忽チ文部大臣ハ更迭ヲシテ新內閣ハ一方ニ於テハ輿論ノ重ズベキコト、教育ノ擴張セザルベカラザルコトヲ宣告シ又一方ニハ高等教育會議ノ規則ヲ發令シテ大局

面ヲ一變スル場合ニナリマシタ、前内閣ガ政治社會教育社會ノ輿論ヲ顧ミズ
 努テ之ヲ排却シテ退ケラレタニ反シテ新内閣ハ翻然トシテ輿論ノ在ル所ヲ察
 シサウシテ此規則ヲ發布セラレタノハ頗ル美譽デアリテ我々ハ之ヲ稱贊スル
 ニ躊躇致サナイノデアアル、然ルニ其規則ヲ見レバ第一此組織ガドウモ甚ダ不
 完全デアッテ或ハ有名無實ナヤウナコトニナッテ特ニ此會議ヲ設ケタ效ト云
 フモノガ甚ダ乏シイヤウニ思ハレル試ニ勅令第三百九十號高等教育會議ノ規
 則ヲ見マスルト其第三條ニ組織ガアリマス則チ高等教育會議ハ左ノ議員ヲ以
 テ組織ス、一、帝國大學總長及各分科大學長、二、文部省各局長、三、高等
 師範學校長及女子高等師範學校長、四、高等商業學校長東京工業學校長及東
 京美術學校長、五、高等學校長一人、六、學識アル者又ハ教育事業ニ関歴アル
 者七人以内、是ガ勅令ノ組織デアリマスツレテ其人數ハ併テ二十二二人デア
 ル其中十五人ハ文部省ノ局長ト文部省ノ直轄學校ノ校長デアアル斯様ナ譯デド
 ウモ是デハ我々ノ希望ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、恐クハ何人ト
 雖モ是ヲ以テ満足シテ居ル者ハナイ則チ新聞紙ヲ閱テモ雜誌ヲ閱テモ又誰ノ
 話ヲ聞イテモ是デ満足デアルト云フモノハ殆ド一人モナイデアリマス恐ラク
 ハ文部ノ部内デモ決シテ之ヲ満足シテ居ル様子ハ更ニナイ抑、我々ガ高等教
 育會議ノ設立ヲ希望致シタノハ最初建議者ガ當議場ニ於テ演說説明ヲ致
 シタル如ク又昨年一月十六日附ヲ以テ差出シタル所ノ質問書ニ明ニ明記シテ
 アルガ如ク數、變ハル文部大臣ガ自己ノ一個ノ專斷デ學政ノ主義方針ニ關ス
 ルコトヲ畫策決行シテ往クトキハ其方針ト云フモノガ動搖シテ止マル所ヲ知
 ラヌヤウナ有様デ弊害ガ甚ダ多イコトデアアルカラツレテ高等教育會議ト云フ
 モノヲ設立シテ往クツレテ以テ教育社會ノ輿論ヲ聽イテ文部大臣ガツレニ依
 學政ヲ行ツテ往クツレバ大ナル過ガナイデアラウ即チ教育社會ノ輿論ヲ聽
 クト云フコトガ此建議ノ大趣意デアアル然ルニ斯ノ如キ組織デハ逆モ輿論ハ分
 リマセヌ輿論ドコロデハナイ極ク偏ツタ說ホカ分ラナイ或ル人ハ無イヨリ益
 シデハナイイカト云フケレドモ我々ハ無イヨリモ劣ツテ居ルカト云フ位ニ考
 ルノデアアル如何トナレバ此會議ノ無イトキニハ人ガ皆文部省ノ出シタ法令ヲ
 見テモ文部大臣ガ又例ノ物好キデ之ヲ出シタノカト云フヤウナ感シヨ以テ深
 ク信用ヲ置カナイ併ナガラ此會議ト云フ機關ガ一々ヒアツタナラバ世間ノ
 人ハ誤ツテ是ハ正當ナ……至當ナモノデアアルカト云フヤウナ信用ヲ置クカモ
 知レナイサウ云フモノデ大切ナル會議デアアルカラ或ハ不完全ナルモノデア
 タナラバ或ハ無イ方ガ宜イカモ知レヌカト思フ位デアアル今ヤ文部省ハ戰後
 ノ經營トシテ從來山ノ如ク積ンダ所ノ事務ヲ處分スルガタメ一ノ大方針ヲ
 定メ又一ノ大計畫ヲ立テ、大ナル規模ニ依テ學政ノ改革トカ擴張トカ云フコ
 トヲ決行シテ彼ノ十二師團ノ陸軍二十萬噸ノ軍艦ヲ有スル軍事上ノ政事ト立
 進シテ往カネバナラヌト云フ時ニ臨ンデ我々ハ唯一ツノ此高等教育會議ト云
 フ機關ガ頼ミデアアルノデアアルツレ故ニ何分此儘デハ甚困ル是非トモ完全ノモ
 ノニナラナケレバナラヌ是ハ亦我々ノ一人ノ說デハ無イ教育社會政治社會
 ノ公評デアアル輿論デアアル、松方内閣ハ折角輿論ヲ採用シテ規則ヲ發令フシテ
 何故ニ斯ノ如ク拙ナルコトヲ爲シタデアラウカ疑ハシイ蓋シ内閣組織ノ際ニ
 於テ議會ノ會期ガ切迫ヲ致シテ居ル政治教育社會ガ激昂ヲ致シテ居ル折柄デ
 アツテ多少ノ缺點ハ漸次修正ヲスル積デ所謂善ハ急ゲト云フヤウナ諺ニ依テ
 完全ニシテ機會ヲ誤ルヨリハ寧ロ不完全ニシテ速ニシタ方ガ宜イト云フヤウ

ナコトノ意デアッテ決シテ惡意ニ出タコトデナイト云フコトハ明デアアルニ依
 テ我々ハ決シテ内閣ヲ責メルト云フヤウナ存意ハ少シモナイ、唯怪シムベキ
 ハ文部省ニハ豫テ此高等教育會議ノ事ハ河野時代ノ案ト井上時代ノ案ト云フ
 案ガ二ツアル較、完全ノ宿案ガアルノデアアルツレニ拘ラズ斯ノ如キ杜撰ナル
 案ヲ草シテサウシテ内閣ニ提出ヲセラレタト云フノハ甚ダ不思議ニ感ズル是
 ハ蓋シ局長其他屬僚ノ誤デアラウ決シテ文部大臣ノ誤デハナイト思フ、又一
 ツ怪シムベキコトガアルツレハ文部ノ一局長ガ此會議ノ事ニ付テ規則ガ出ル
 ヤ否ヤ世間デハ驚キト非難ガ喧シイ其非難ニ對シテ教育時論ト云フ雜誌ニ一
 ノ辯解ガ掲ケデアアル甚ダ面白イコトガ書イテアル之ヲ讀ムト建議ノ當時ニ文
 部大臣ガ如何ニ恐怖シテ恐レラレタカ如何ニ狼狽サレタカ能ク分ル先ツ文部
 省ガ始ニハ飽マデ會議ノ設立ヲ拒ンデ後ニ突如トシテ設立シタノハ甚ダ無定
 見デアルト斯ウ云フコトヲ非難スル者ガアルガツレニ附テ辯解ヲシテアル、
 是ハ參考書デアアルカラ朗讀シマス
 試ニ第八議會、及第九議會に於ける高等教育會議設立建議者及贊成者之言
 論意嚮果して如何なり一カを回想せよ云々
 是カラガ面白イノデス
 當時高等教育會議ノ設立を主張する者の政府に向つて迫り来る有様は恰も
 兵士の肉薄して敵城を襲ひしもの、如く文部大臣たるもの勢ひ亦門を閉き
 て突出せざるへからず故に前議會に於て西園寺文相より高等會議設立に反對
 なる答辯書を與へたるは後世に至らば必ず之を不當とする者なきに至るへ
 一蓋し建議者及贊成者の言ふかま、之を設立せんか名は諮詢府に過ぎざ
 り雖教育行政の實權は會議に移りしならん即ち文部大臣は遂に木偶人の如く
 一舉一動すへて高等教育會議の爲に牽制せらるゝに至らんも知るへからざ
 りなり云々
 然るに爾後教育界は頻りに高等教育會議の設立を希望し而して文部省が該
 會議設立に反對せざる可らざるの理由の消滅したるか故に蜂須賀大臣は會議
 設立の事を上奏するに至り云々
 次ニ會議組織ノ不完全ナラザルコトヲ辯シテ曰ク
 第一高等教育會議議員の殆ど三分の二カ文部大臣管轄の下にある職員たる
 に對しての非難なり成程帝國大學總長及各分科大學長や文部省各局長や其
 他の直轄學校長やすへて文部大臣の管轄に屬すへき職員たるに相違なし然
 れども唯其管轄の下にある職員たるの故を以て彼等の意思が擅きに文部大
 臣の爲に左右せらるゝもの、如くに速断するは大なる謬見なり從來の形迹
 に徴するも大學の教授は言ふ迄もあゝ其他直轄學校の校長の如きも容易に
 自己の意思を任ぐるものにあらず
 幾ラカ狂ケルヤウニモ見ユル
 文部大臣の意の如くならぬんなど、は以ての外の事を云々
 第二會議の組織を狹隘なりとて教育界の全般を代表せしむる能はずと云
 ふ非難なり成程高等教育會議の規則には職務を以て議員たるべきもの文部
 局長の外大學連及兩高等師範學校長高等商業學校長東京工業學校長東京部
 美術學校長高等學校長のみにて尋常師範學校尋常中學校高等女學校及各
 實業學校小學校等を直接代表せしむべき議員を擧げざりしは事實なり然れ
 ども云々

此點に於ては

普通學務局長の如きは云々尋常師範學校長尋常中學校長等に比すれば其著

眼意見の如きも却て公平著實なる一云々

前述學校の代表者なきを憂るか如きは杞憂の甚きものと云ふへ云々

分トガ矛盾デナイ決シテ前後ノ内閣ガ變テ考テハナイ前ノ文部大臣ガ居

テモ今度ノ案ヲ立テルノダト云フ斯ウ云フ意味デ前内閣ガ折角輿論ヲ採用シ

テ爲シタル善政ノ事實ヲ蔽ヒ隠シテ巧ニ文章ガ書イテアル又後段ハ實ニ傍若

無人ナ事ガ言フテアル尋常師範學校長中學校長ニ比スレバ學務局長ノ方ガ却

テ公平著實ダト云ウテアル甚ダ傍若無人デアアル若シ萬一斯ノ如キコトガ此會

議規則ノ精神デアアルナラバ決シテ勅令デ會議ヲ設クル必要ハナイ文部次官ト

局長ガアレバソレデ澤山デアアル是ハ必ズ政府ノ本意ニ出テ解解デハナイ恐ク

ハ此辯解者ハ前ニハ會議ノ設立拒絶ノコトヲ主張シ後ニハ設立ノコト又勸メ

タ所謂反覆常ナキ世ニ所謂曲學阿世ノ徒ガ自分ノ醜態ヲ掩ハンガタメニシタ

モノデアアルソレ思フコトナ説ハ決シテ採ルニ足ラヌ説デアアルト思フ、斯ノ如

ク私ガ餘計ナコトヲ申スノハ或ハ此度ノ質問ニ對スル答辯モ亦斯ノ如キ人ガ

答辯ヲ書イテ意外ナ答辯ノ出ナイトモ限ラヌト云フコトヲ思フカラ其事ヲ

チヨット申述ベテ置クノデアアル、然ラバ私ノ希望ト云フモノハドウ云フノ

デアアルカ、ドウ云フコトヲ希望スルノデアアルカ即チ第一組織ノコトデアアリマ

ス大切ナ組織ノ要素ガ缺ケテ居ル第一尋常師範學校長ト云フモノガナイ公立

尋常中學校長ト云フモノガナイ是等ハ普通教育ヲ代表スル所ノ大切ナモノデ

別段説明ヲ要シマセヌ公立高等女學校長、女子ノ教育ヲ代表スル者ガナイソ

レカラ音樂學校ノ代表者ガナイ普通教育ニハ音樂唱歌ト云フモノガ皆ナ附

イテ居テ大切ナモノデアアル是ガナイソレカラ貴族ノ教育ヲ代表スル者ガナ

イ學習院長華族女學校長ト云フモノガナイ、航海ノ教育即チ商船學校ナドノ

少年ガ煙草ヲ吸フノハ宜クナイカラ煙草ヲ吸ハヌ様ニシロト云フコトヲ喧マ

シク言ハレタ、是レハ甚ダ宜イコトデ最モ贊成スル所デアアル、ケレドモ奈何セ

ム是ハ實行サレナイ、如何ニモ學校ノ門外ニ於テハ誰モ制スル者ガナイ、警察

ト云フモノハアツテモ更ニ問ハナイ、ソレ等ノ事ハ警察ノ力ト相待タナケレ

バ出來ナイコトデアアル、其他獨逸ナドデハ學生ノ取締ハ悉ク嚴重デアアル、學校

外デモ學生ハ料理屋ニ這入ルコトハナラナイ、飲食店ニ立入ルコトハナラナ

イト云フ斯ウ云フコトガ警察令デ出テ居リマス、サウシテ警察官ガ教育ノ内

部ト俱ニ力ヲ合セテ青年ノ教育ノ事ニ從事致シテ居ル、ソレデ以テ教育ノ完

全ノ目的ガ達セラレル、ソレガ我邦ニ於テハ少シモソナコトガナイ、隨

分青年ノ方向ヲ誤ルコトガ多イモノデアアリマスルカラ是等ノタメニハ警保局

長モ加ヘルコトガ必要デアアル、ソレカラ又制度上ノ事ハ文部省ノ教育ノ制度

ハ總テ勅令省令デ出テ居ッテ法律ニナッテ出テ居ルモノハ凡ソ無イ、デ勸

モスレバ國家ノ諸般ノ法令ト關係ヲ持ッテ抵觸スルノ恐れガアルノデゴザイ

マス、ソレデ法制局長官モ此會議ニ參與シテ國ノ全體ノ法制ト相扞格セヌヤ

ウニ教育制度ヲ制定ラシナケレバナラナイト思ヒマス、ソレカラ少シ申落シ

マシタガ私立學校長ト云フ者モ這入ラナケレバナリマセヌ、私立學校ト云

テモ慶應義塾トカ專門學校ノ如キモノモアリ又小學校ノ如キハ許多ノ諸私立

學校ガアリマス、是ハ各々皆官立公立ノ學校ト利害ヲ異ニシテ居ルモノデア

アル、デ是非是レモ此會議ニ代表スル者ガ出ナケレバナリマセヌ、ソレカラ御

存シノ如ク學士會院ト云フモノガアツテ是ハ碩學鴻儒ヲ集メテアル會ガア

ル、ソレヲ代表スル人モ這入ラナケレバナラナイ、ソレカラ文部省ニ衛生願

問會ト云フモノガアル、凡ソ教育ノコトハ衛生ニ關係ヲ致サヌモノハナイカ

ラ衛生顧問ト云フモノモ這入ラナケレバナラナイ、是ダケ這入レバ教育社會ノ興

論ハ大抵分カルコトデアアリマス、ソレカラ是ダケ這入リマシテモ亦教育ト云

トスルト云フコトガアル、是ガ甚ダ困ル、凡ソドコノ外ノ會議ニモ秘密會ト書イテアルモノハナイ、ソレデ總テ行政ノ事ハ御承知ノ通比較的ニ皆秘密デアアテ決シテ公開ノモノデアハナイ、併ナガラ若シ此規則ニ於テハ秘密會デアアルト云フコトデアアタラバ恐ラクハ文部大臣ガ此會議ノ顛末ヲ公ニシテイト思フテモ此規則ニ觸レルタメニ公ニスルコトハ出來ナイ、是ハ甚ダ不都合デアアル、ソレデア文部省ノ行政ノ事ハ比較的ニ秘密ノ事ハ至ッテ少イノデアアテ却テ公ニシナケレバナラナイコトガ多イデアアル、ドコノ國デモ學校ノ規則ニ改正委員ヲ拵ヘタナラバ精密ニ調ヲシテ其調ベタモノハ文部省カラ世間ニ公ニシテ世間ノ說ヲ聞イテ其輿論ノ歸著スル所ニ依ッテ定ムル是ガ當然ノコトデアアル、然ルニ文部省ノ此規則ニ限ッテ秘密會議ニスルハ是ハ甚ダ不都合デアアル、是ハ非ニ除カナケレバナラナイ、先ヅ斯様ナ譯デアアリマシテ此希望ト云フモノモ我々一個人ノ物好ノ希望ト云フモノデアハナイ、色々取調モ致シ話モ致シ常ニ學制ヲ研究シテ居ル學制研究會ト云フ様ナモノガアリマスカラソコノ意見ヲモ聽イテ見マシタ、又大抵世間ノ教育社會ノ說ヲ聽イテ見タ所デアハ凡ソ斯ナ様ナ譯デアアルノデゴザイマス、今申ス所ノ意見ヲ順序ヲ追フテ書綴レバ斯ノ如キコトデアアル、勅令第三百九十號ノ高等教育會議規則中増補修正スベキ要項、第一議員ヲ増加スルコト、法制局長官陸軍及海軍教育主任將校各一人、内務省縣治局長、警保局長、拓殖務省高等官一人、學習院長、華族女學校長、商船學校長、音樂學校長、尋常師範學校長二人、公立尋常中學校長二人、公立高等女學校長一人、私立學校長三人、東京學士會院會長、文部省衛生顧問會議長、第二臨時議員、常任委員及幹事ヲ置クコト、第三關係各省ニ建議スルヲ得ルコト、第四毎年一回必ズ會議ヲ開キ必要ノ場合ニハ臨時會議ヲ開クコト、第五秘密會ヲ削除スルコト、斯ウ云フコトデアアリマス、サウナリマスレバアラユル教育社會ノ輿論ノ集合府ニ爲ッテ頗ル有力ナル教育ノ最高等諮詢ノ機關ト爲ル、今後之ニ依ッテ文部大臣ガ學政ヲ實行シテ行クナラバ規模ノ宏大ナル施設モ一ノ障礙ナクシテ圓滿ニ行ハレマス、山ノ如ク積ッテ居ル事務モ外ヲ迎ヘテ解クト云フコトニナルダラウト思ヒマス、尤モ一旦發令ニナツタ規則ヲ急劇ニ改正ヲ加ヘルト云フコトハ或ハ斷行シ難イ事情ガアルカモ知レナイガ、宛ニ尋常師範學校長ト尋常中學校長トヲ加ヘ臨時議員ヲ置クコトダケハ是非トモ急ニ之ヲ補ハナケレバ會議ノ體ヲモ成サスト云フモノデアアリマス、如何トナレバ此會議ノ問題ト云フモノハ普通教育ノコトガ多イ且ツ目下焦眉ノ急ナル中學小學ノ問題ト云フモノガ非常ニ多キ數ガアルノデゴザイマス、更ニ進シテ完全ナル諮詢機關デナケレバ諮詢ヲシテモ一向諮詢ノ效ガナイト云フコトニ附キ近イ實例ヲ言ヘバ數年前文部省デ視學官ト云フモノヲ廢止シタ、是ハ輿論ヲ少シモ用ヒナイ、ソコデア年來以來文部省デ致々トシテ視學官ヲ置クコトニ汲々トシテ居リマス、今年ノ豫算ニモ視學ノコトガ載ッテ居リマスガ數年前ニ廢シタモノヲ今日又置カナケレバナラヌ、又京都ノ高等學校ノ大體豫科ヲ廢シタ、三年前ニ廢シタ、決シテ是ハ廢スベカラザルモノデアアル、所ガ之ヲ廢シタ、忽チ輿論ガ喧マシクテ又今年ハ豫科ヲ置クノデアアリマス、京都ノ高等學校ニ大學ノ豫科ヲ置クノデアアリマス、ソレカラ京都ニ立テル大學ノ醫科大學ノ位置ヲ文部省ハ大阪ヘ持ッテ行ッテ置カウト云フコトデアアタ所ガ昨年議會ニ出テ衆議院ノ豫算委員會デ

サンザン其事ニ附テ議論ガアツタガ一言モナイ素人ノ議論ダガ失張黒人ガ負ケテ遂ニ京都ニ直スコトニシマシタ、又昨年發布ニナツタ年功加俸ノ方法モ大イニ議論ガアツタガ果シテ實行シテ見ルト大イニ不都合ガアリマシタ、其上教育上ニ差支ヘルコトガ大分出來テ來マシタ、ソレカラ當年モ地方視學ヲ置カレルコトニナリ當年ノ豫算ニ載ッテ居ル、是モ御承知ノ通衆議院デ議論ガアリマシタ、衆議院ノ議論ハ我々ハ自由黨ノ說デアアルガ宜シイト思フテ居リマス、又高等教育會議ノ規則モ出ルヤ否ヤ議論ガ喧マシイ譯デアリマス、是等ハ皆内部デアハ多少相當ノ諮詢ヲ經テ出タニ違ヒナイ、輿論ニ反對シテ居リマスカライケナイ、ソレニ反シテ輿論ノ歸著シテ居ル所ニ依ッテアレバ一モ非難ガナイ、其例ガ許多アリマス、例ヘバ京都ニ大學ヲ設立ヲ致シ大阪ニ工業學校ノ設立ヲシタリ又本年ノ豫算ニアル帝國圖書館ヲ設立スルトカソレカラ高等學校ニ専門科ヲ設ケルコト美術學校工業學校ヲ擴張スルコト外國語學校ヲ設立スルコト留學生ヲ増加シテ海外ニ洋行ヲサセルコト實業學校ニ補助金ヲ與ヘルコト是等ハ帝國議會カラ建議シタコトガ多イ若クハ教育社會デ熱望シテ居ルコトデアアリマスサウ云フコトハ一モ故障ガナイ、悉ク歡迎サレテ一モ故障ガナイ、右申述ベル通ノ次第デアリマスカラ我ノ見ル所ガ至當デアアツテ我々ノ推測スル所ガ政府ノ實情デアラナラバ政府ハ所謂善ニ從フコト流ル、ガ如キ雅量ヲ以テ我々ノ希望ヲ容レテ大ニ該規則ヲ改良セラレテ少クとも會議ノ體ヲ爲スダケニハ成ルベク速ニ修正増補セラレテ政治社會教育社會ノ輿論ニ副ハレテ内閣ノ信用ト聲望トヲ増サレルヤウニ致シタイコトヲ切ニ希望スルデアアリマス、若シ之ニ反シテ政府自ラモ其非ナルコトヲ悟リツ、モ一旦出シタモノハ一步モ退カストカ或ハ内部僚屬ノ折合上ニ於テ餘儀ナク非ヲ遂ゲルトカ云フヤウナ因循姑息ノ考ヲ以テ此事ハ完全デアアル十分目的ハ達セラレルト云フ見込デアアルト云フ如キ前内閣ノ筆法ヲ以テ我々ノ希望即チ政治社會教育社會ノ輿論ヲ排斥シテ更ニ顧ヌト云フヤウナコトデアアレバ我々又ハ已ムヲ得ズ大ニ考ヘル所ガナケラネバナラヌ、若シ左様ニナルトキハ所謂般鑑遠カラズ此高等教育會議ノ組織ノ如ク又直ニ規則ヲ改正ヲ要スルノ時機ガ來ル、サウ云フコトニナルト政府ノ信用ハ益地ニ墮チテ仕舞フコトニナルデアアリマス、併ナガラ教育ニ熱心ナル所ノ現内閣ハ決シテ右様ナコトハナイト信ジテ居リマス、願ハクハ政府ハ我々ガ政府ヲシテ其名ヲ成サシメントスル所ノ親切ナル希望ヲ深く推考セラレテ満足ノ答辯ヲ與ヘラレト云フコトヲ望ミマス、是ガ質問書ヲ提出致シタ理由ノ大要デアリマス、チヨット一言此ニ附加ヘテ置カナケレバナラヌコトガゴザイマス、此會議ノ建議者ハ加藤弘之君デアリマシテ其時分ハ我々ハ贊成者デアリマス、今度ノ質問提出者ハ我々デアアツテ加藤君ハ贊成者デアリマス、少シ御疑ガアラウト思ヒマスガ其譯ハ此會議ノ組織ヲ不完全トシテ居ル所ノ點ハ加藤君モ我モ同一デアリマス、加藤君ハ此規則ノ發令ノ時ニモ教育會議ノ出來タコトハ甚ダ悅ブベキデアアルガ組織ガ未ダ十分ナラザルハ甚ダ遺憾ノコトデアアル、此後必ズ改正ニナルコトヲ希望スルコト云フコトヲ文部大臣次官ニモ申送ラレテ居リマスケレドモ其組織ノ方法ニ至ッテハ少シ我々ト意見ヲ同ウセヌ所ガアル、即チ加藤君ノ希望ハ凡ソ議員ヲ三十餘人トシテ其半分ハ職務上ヨリ議員ト爲ル者デ諸ノ學校長並文部ノ局長等トシ他ノ半數ハ文部大臣ノ選任デ

從來教育上ニ經驗ノアル者又研究ヲシタ者等トスル、斯ウ云フ趣意ヲ以テ加藤君ハ一個人トシテ文部大臣次官等ニ話置カレタコトガアリマス、斯ウ云フ事情ノタメニ提出者トハナラズシテ賛成者ト爲ラレタノデゴザイマス、チヨット其コトヲ御斷リ申シテ置キマス

○兒島惟謙君 私ハ豫算ノ分科會ニ出タイト思ヒマスガ大分頭數モ揃ッテ居ルヤウデゴザイマスカラ、ドウカ許可ヲ願ヒマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 一ツノ分科會ナラ宜シウゴザイマスガ各分科會デアルト定足數ニ缺ケマスカラ御猶豫ヲ願ヒマス

○兒島惟謙君 一ツ……タツタ七人バカリデゴザイマスカラ……

○議長(公衛近衛篤磨君) 暫ク御待下サルヤウニ願ヒマス、今日ノ議事日程ニ移リマス、第一、明治二十九年歳入歳出總豫算追加案、總追第五號、審査期限ヲ定ムルノ件、通牒文ヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

明治二十九年歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十年二月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公衛近衛篤磨

○子爵谷干城君 此期限ハ明日中ニ報告スルト云フコトニシタイト考ヘマス、抑々段々觀テ見マスルニ、ヒドウ審査ニ手間ノ取リサウナ議案トモ思ハレマセヌカラ本日ヨリ取掛ツテ議シマシタナラバ多分遅クモ明日中ニハ結了シヤウト思ヒマスカラ明日中ニ報告スルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 賛成

○議長(公衛近衛篤磨君) 唯今谷子爵カラ此審査期限ヲ明日中ト云フコトニシタイト云フ發議ガ有リマシタガ御異議ガナクバ……

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

然ラバサウ云フコトニ……次ニ明治二十九年歳特別會計歳入歳出豫算追加案特追第三號、審査期限ヲ定ムル件

(有賀書記官朗讀)

明治二十九年歳特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十年二月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公衛近衛篤磨

○子爵谷干城君 是モ同様ニ致シタイト思ヒマス
○三浦安君 賛成
○議長(公衛近衛篤磨君) 唯今ノ谷子爵ノ發議ニ御異存ハアリマセヌカラ(異議ナシ)ト呼フ者アリ

然ラバサウ云フコトニ致シマス、第三、明治二十九年歳入歳出總豫算追加案總追第六號審査期限ヲ定ムルノ件、通牒文ヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

明治二十九年歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十年二月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公衛近衛篤磨

○子爵谷干城君 是モ同様ニ致シタイ
○子爵曾我祐準君 賛成
○議長(公衛近衛篤磨君) 是レ亦谷子爵ノ發議ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

第四、北海道國有未開地處分法案、政府提出、第一讀會
是ハ條數ガアリマスルカラ通牒文ノミヲ朗讀サセマス

(有賀書記官朗讀)

北海道國有未開地處分法案
右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十年二月二十三日

內閣總理大臣伯爵松方 正義
拓殖務大臣子爵高島駒之助

(左ノ議案ハ朗讀ヲセサルモ參照ノ爲メ茲ニ載録ス)

北海道國有未開地處分法案
第一條 北海道國有未開地ノ賣拂付與交換及貸付ハ此ノ法律ニ依リ
第二條 前條ノ賣拂及貸付ハ此ノ法律ニ於テ特ニ規定スル場合ノ外競争ニ付セス
第三條 開墾牧畜若クハ植樹等ニ供セントスル土地ハ無償ニテ貸付シ全部成功ノ後代價千坪一圓ノ割ヲ以テ賣拂フヘシ但シ一人ニ付キ三萬坪以下ヲ貸付シタルモノニ限り無償ニテ付與スヘシ

前項ノ貸付地面積ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第一項ノ貸付地ハ全部成功ニ至ラズト雖土地整理上支障ナシト認ムル場合ニ於テハ其ノ成功地ノ全部若クハ一部ヲ賣拂又ハ付與スルコトヲ得

第四條 公用若クハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セントスル土地ハ直ニ賣拂付與又ハ有償若クハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第五條 市街地市街豫定地其ノ他土地ノ狀況ニ由リ必要ト認ムル土地ハ競争ニ付シ直ニ賣拂フコトヲ得

第六條 社寺地又ハ墓地ニ供セントスル土地其ノ他事業ノ目的ニ由リ必要ト認ムル土地ハ直ニ賣拂フコトヲ得

第七條 素地ノ儘使用シ又ハ期間ヲ定メ使用セントスル土地ハ有償若クハ無償貸付ヲナスコトヲ得

第八條 民有地ト交換スルコトヲ得ヘキ土地ハ少クモ其ノ評定價格相均キモノニ限ルモノトス

第九條 土地ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

北海道國有未開地處分法案 第一讀會

無償貸付 十箇年
有償貸付 十五箇年

泥炭地ノ開墾又ハ植樹ヲ目的トスルモノニ限リ特ニ二十箇年以内ノ期間ヲ以テ貸付スルコトヲ得
天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由リ貸付期間内ニ成功スルコト能ハサルトキハ貸付期間ノ半期間マテ延期スルコトヲ得
第十條 第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ豫定ノ事業成功ノ程度ニ從ヒ隨時其ノ成否ヲ點檢シ豫定ノ如ク成功セサルトキハ未成功地ノ全部ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部若クハ全部ヲ無償ニテ返還セシムルコトアルヘシ
第十一條 貸付地ニシテ公用又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セントスルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ建設物アルトキハ所有者ノ請求ニ由リ評定價格ヲ以テ之ヲ買收シ其ノ他土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ハ之ヲ辨償スルモノトス但シ第三條ニ依リ貸付シタル土地ニ關シテハ其ノ評定價格土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ヨリ多額ナルトキハ其ノ價格ニ由リテ辨償スルモノトス

前項建設物ノ代價及其ノ土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用土地又ハ建設物ノ評定價格ノ辨償ハ起業者ノ負擔トス
第十二條 左ノ場合ニ於テ天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由ルモノ、外賣拂付與及貸付處分ヲ取消スモノトス但シ賣拂ニ係ルモノハ其ノ既納ノ代價ヲ還付スヘシ
一 第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ一箇年以内ニ事業ニ著手セサルモノトキ
二 第四條及第六條ニ依リ賣拂付與又ハ貸付シタル土地ニシテ三箇年以内ニ豫定ノ目的ニ使用セサルモノトキ
三 第四條及第七條ニ依リ無償貸付ヲナシタル土地ニシテ二箇年以内ニ豫定ノ目的ニ使用セサルモノトキ

第十三條 左ノ場合ニ於テ伐採シタル樹木アルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス
一 第三條ニ依レル貸付中ノ土地ヲ自己ノ便宜ニヨリ貸付期間内ニ返還セシムルモノトス
二 第四條及第七條ニ依リ無償ニテ貸付シタル土地ヲ豫定ノ目的ニ使用セシムルモノトス
第十四條 第十條ニ依リ貸付地ヲ返還セシムルモノ若クハ自己ノ便宜ニヨリ貸付中ノ土地ヲ返還シタル場合又ハ第十二條ニ依リ賣拂付與及貸付處分ヲ取消シタル場合ニ於テ其ノ土地ニ在存スル家屋其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ハ行政廳ノ定メタル期間内ニ於テ之ヲ除去スヘシ若クハ其ノ期間内ニ除去セサルトキハ其ノ物件ハ國ノ所有ニ歸ス

第十五條 左ノ貸付地ニ限リ行政廳ノ許可ヲ得テ其ノ貸付地ノ上ニ有スル權利ヲ擔保ニ供シ又ハ賣拂若クハ付與スルコトヲ得
一 第四條及第七條ニ依レル有償貸付地

二 行政廳ニ於テ特ニ指定シタル區域内ニ於ケル貸付地
三 命令ヲ以テ定メタル事項ニ該當スル貸付地
第十六條 第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ貸付期間満了後一箇年以内ニ其ノ土地ノ賣拂又ハ付與ヲ請求スヘシ一箇年ヲ經過シテ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス
第十七條 第三條ニ依リ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ全部ヲ成功スルニアラサレハ他ノ土地ノ無償貸付ヲ受クルヲ得ス但シ相當ノ資力アリテ成功スルヲ得ル者ト認ムルトキハ此ノ限ニアラス
第十八條 此ノ法律ニ依リ賣拂付與又ハ交換シタル土地ハ其ノ民有トナリタル年ノ翌年ヨリ二十箇年ノ後ニアラサレハ地租及地方稅ヲ課セス

第十九條 此ノ法律ハ明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依リ貸付中ノ土地ニ對シテモ之ヲ適用ス但此ノ法律施行前牧畜ノ爲ニ貸付シタル土地ニ限リ五箇年以内貸付期間ヲ延期スルコトヲ得
第二十條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第二十一條 明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則及其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル規程ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
第二十二條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

○政府委員(男爵北垣國道君) 本日拓殖務大臣出席ニナリマシテ此法案提出ノ理由ヲ述ベラレ爾レ答デアリマシタガ據ナキ差支ガアリマシテ出席ニナリマセシ、大略私ヨリ述ベマスデゴザイマス、此北海道ノ土地處分ニ附キマシテハ明治五年十月ニ太政官ノ公布ヲ以テマシテ北海道土地賣買規則ト云フモノヲ發布サレマシタ、是ガ處分法ヲ始マリテゴザイマス、其後明治十九年六月ニ至リマシテ閣令第十六號ヲ以テ改正ニナリマシタ、是ガ現行ノ規則デゴザイマス、即チ北海道土地拂下規則デゴザイマス、其以來十數年ヲ經マシテ餘程北海道萬般ノ事情ト云フモノハ進歩シテ來マシタカラ現行ノ法律デハ餘程差支ヘマスルモノガアリマシテ處分ニ甚ダ困難ヲ見マス、デ當路者ハ種々之ヲ活用シマスルモノ今日ヲ處分シテ居リマスケレドモ、モト本法ガ宜シクアリマセヌカラ如何ナル手立ヲ以テマシテモ十分ナル處分ヲ爲シマスコトガ難ウゴザイマス、源ガ濁ッテ居リマス其末ヲ澄マスコトハ甚ダ難イ、因ッテ今日此改正法案ヲ提出シマス次第デアリマス、デ此改正ノ要點ヲ一二申シマスレバ第一現行規則ハ誠ニ御承知ノ通單一ナモノデアリマシテ唯拂下ノ一方アルノミ其他ノ事ニハ甚ダ不十分ナモノデアリマシマス、因テ本案ニ於キマシテハ第三條ヨリ第八條ニ至リマス間ノ各條ニ於キマシテ此賣拂、讓與、交換、貸付、是ナドノ場合ヲ列舉シマシテ、ソレ等ノ土地處分上ノ圓滑ヲ期スルコトニ致シマシタ、第二ニハ現行規則デアリマスルト千坪一圓ノ割合ヲ以テマシテ總テノ地所ヲ拂下ゲルコトニナッテ居リマス、是モ經驗上其當ヲ得ヌコトヲ見出シマシタ、ナゼナラバ此北海道ノ移住民ハ年ニ増加致シマスケレドモ前途ノ目的ノ數ニ依リマシテハ今日十分ノ一モ移住ヲシテ居リマセヌ、因テ此移住ヲ獎勵シマスルコトモ必要デアリマス、マダ移住ノ獎勵ハ必要デナイト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌカラ其獎勵ノタメニハ三万坪以下ノ移住者ハ之ヲ無代貸付致シマシテ成ルベク小資本ノ移住者ハ樂ニ移レルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、三万坪デアリマスレバ、三十万圓ノ……

是ハ誤リマシタ、三十圓ノ金額ニナリマスルカラ、小資本ノ移住者ニ於キマシテハ餘程力ニナリマスルコトデアリマス、第三ニハ前段ノ如キ保護ヲ與ヘマス以上ハ又之ヲ制裁スル所ノモノガナクテラヌケレバナリマセヌカラ、ソレ等ハ嚴正ノ規程ヲ設ケマシテ漫ニ土地ヲ占有スル様ナ弊害ノナイ様ニ用意ガシテアリマス、其他貸附地ノ全部成功ニナリマセヌ以前ト雖モ或ハ其實況ニヨリマシテハ、其幾分ヲ讓與又賣拂ヒ或ル場合ニ於キマシテハ貸附ケマシタ土地ノ上ニ有シマシタ權利ヲ擔保トシマシテ、金融ノ一端ニ致ス様ナコトモ用意ヲシテアリマス、是ナドガ現行規則ニ於キマシテハ規程ガアリマセヌカラ、此改正ヲ要シテ其便利ヲ求メ、成ルベク拓殖ノ進歩ヲ圖ル次第デアリマス、尙ホ一言ヲ添ヘマスニハ此北海道ニ於キマシテハ開拓スベキ土地ガ殆ド三百万町歩ノ見込デアリマス、然ルヲ明治二十八年ノ開墾反別ヲ見マスルト、田畑ノミデアリマスケレドモ漸ク九万七千八百町歩餘ニナツテ居リマス、田畑ノ開墾ガ一年ニ一萬五六千町歩、進んで行キマスカラ昨年ノニツレヲ加ヘマシテモ漸ク十一万町歩程ナモノデアリマス、故ニ之ヲ以テ見マスルト、北海道ノ開墾地ハ漸ク三分ノ一シカマダ田畑ニナツテ居ラスト申シテモ宜シイ次第デアリマス、テ隨分處分スベキ土地ト云フモノハ多數ナモノデアリマス、此法律ハ本則ハ十八箇條附則ハ四箇條、二十二條ニナツテ居リマスルモノデアリマスルガ、其得失ノ關係ト云フモノハ此ノ如ク莫大ナモノデアリマスカラ、何卒諸君ニ於キマシテモ宜シク御審査ヲ遂ゲサセラレマシテ贊成アラフコトヲ希望致シマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ御演說ノ中ニ三分ノ一ハ開ケテ居ルト云フ様ニ聽キマシタガ、若ヤ御言葉ノ誤リデハゴザイマセヌカ

○政府委員(男爵北垣國道君) 誤リデアリマス、三分ノ一デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御質疑モナクバ次ノ議事日程ニ移リマス、第五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 議長ニ委託致シマス、議長ヨリ御指名ヲ希望致シマス

○南郷茂光君 贊成

○子爵谷干城君 贊成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 小松男爵ノ委員ノ選舉ハ議長ニ委託スルト云フコトニ御異議ガナクバ左様致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是ハ後程報道致シマス、第六、北海道鐵道豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

北海道鐵道豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年二月二十三日

内閣總理大臣兼
大藏大臣 伯耆松方 正義

拓殖務大臣兼
陸軍大臣 子爵高島綱之助
遞信大臣 臣子爵野村 靖

明治二十九年法律第九十三號北海道鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一後志國小樽ヨリ渡島國函館ニ至ル鐵道

(政府委員男爵北垣國道君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵北垣國道君) 本案提出ノ理由ヲ概略述べマスルガ、是ハ理由書ニ載セマシタ通りデ、此函樽鐵道ノ必要ハ既ニ北海道鐵道敷設法ノ認メマス所デアリマスガ、今ヤ國家財政ノ上ニ於キマシテハ戰後ノ經營ノ上ニ就キマシテ樞要ノ事柄ハ多クアリマスルカラ此函樽鐵道ノ樞要ト云フコトハ能ク分ツテ居リマスルケレドモ、之ヲ今日國家ノ仕事トシテヤリマスルコトハ至難ナコトデアリマス、幸ニ私設鐵道ヲ願フ者ガ一二ナラズアリマスルカラ、之ヲ確實ト認メマスル以上ハ私設ニ委メル方ガ得策ト考ヘマス、此函樽鐵道ノ豫定線路ハ延長ガ百五十哩程ニナリマスルガ、此間ニ於キマシテ明治二十六年中ノ調査ニ據リマスルト、收支ノ豫算ハ其利益ガ三朱餘ニナツテ居リマス、又最近ノ調査ニ據リマスルト五朱餘トナツテ居リマス、デ北海道事物ノ進歩ハ御承知ノ通年々五割又ハ一倍ノ増加ヲ見ル次第デアリマスカラ之ニ伴フテ鐵道利益モ逐年増加スル次第デアリマス、況ンヤ此鐵道ノ百五十哩ノ沿道ニ於キマシテハ莫大ナ未開地モアリマス、依ツテ之ヲ私設ニ許シマシテモ私設ノ成立タヌ様ナコトハアルマイト考ヘマス、概略理由ヲ申シマスレバ斯ノ如キ次第デアリマスカラ宜シク御贊成ヲ希望致シマス

○子爵谷干城君 質問ヲ今政府委員ノ御說明ニ據ルト國家財政ノ都合ニ依ツテ政府ニ於テ出來ヌ、ソレデ民間ニ之ヲ與ヘタラバ民間ノ事業トシテハ出來ル、斯ウ云フ御說明ノヤウニアリマスガ固ヨリ其通りデゴザイマスカ

○政府委員(男爵北垣國道君) 是ハ政府ニ於キマシテモ御承知ノ通未ダ開ケマセヌ此石狩以東以北ニ於キマシテ多數ノ鐵道ヲ敷設セラレンナラヌコトニナツテ居リマス、此函樽鐵道モ實ニ急要ノ線路デアリマスケレドモ此際ニ石狩以東以北トト合セテ此函樽鐵道ヲ政府ノ仕事トスルコトハ甚ダ至難デアリマス、幸ニ私設ノ發起者ガアリマスカラ是ニ許スヲ得策トスルト云フコトヲ述べマシタノデアリマス

○子爵谷干城君 ソコデ其鐵道全體ノコトニ附テハ私ハ大抵皆諸君ト反對シテ居リマス、多分ドウナリマスカハ五年十年ノ後デナイト其結果ハ分ラナイガ惡ルウスルト谷が見ガ通りハセヌカト思フ、ソレハ何故カト云フト凡テ亞米利加ナリ歐羅巴ナリ現ニ先進國ト稱シテ居リマスル處ノ經濟ニ於テ分ツテ居ル、亞米利加邊リニ於テハ御承知ノ通立派ナ大キナ鐵道會社ニシテカラニ株主ニ利子ヲ配當スルコトノ出來ヌ會社ト云フモノハ十ヲ以テ數ヘテ居ル、ソレデ誠ニ此國家財政ニ關スル國家ト云ヘバ人民モ國家ノ一部分デアアル、此日本全體ノ國家財政ノ困難ノ際ニ政府ガ手ガ及バヌカラト云フテ人民ニ之ヲ渡シマシタ處ガ人民ハ私ソ考デハ尙ホムツカシカラウト思フ、ソレデ又今日此輸出入ノ不平均ノコトハ誰モ嘆息シテ居リマス、凡テ是等ノ事ハ國家財政

ニ關スル人ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアアル、政府ガ金ヲ使ウニシテモ人民ガ金ヲ使フニシテモ凡テ固定資本ノタメニ...

○議長(公爵近衛篤磨君) 御質問デゴザイマスカ

○子爵谷干城君 サウデス固定資本ノタメニ外國ニ金ノ出ルコトハ同シデアリマス...

○政府委員(男爵北垣國道君) 此函樽鐵道ニ於キマシテハ今御尋ノ様ナ至難ノコト...

○子爵谷干城君 能ク分リマシタガ併シガ考モ序デニ申述ベテ置キタイト思フ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵尾崎三良君 チョット私モ政府委員ニ質問シタウゴザイマス、私モ此北海道鐵道ノ事...

○男爵千家尊福君 私モチョット御尋ネ申シテ置キマス、此函樽間ノ鐵道ニ就テハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 モウ一度承テ置キタイノハ今ノ御計畫デシテ參ルト云フト...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 御質問ベカ出來テ居ラウト思ヒマス、其邊ノ御調ベハ如何デアリマス...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 御質問ベカ出來テ居ラウト思ヒマス、其邊ノ御調ベハ如何デアリマス...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

スル氣味ガアツテ後日ニ至ッテハドウシテモ是ハ補給ヲ得ナクテハ成立タヌト云フ...

○子爵曾我祐準君 是ハ何年バカリテ成功スルト云フ見込ニナツテ居リマス...

○政府委員(男爵北垣國道君) 四年デゴザイマス、成功期限ハ四年デゴザイ...

○子爵曾我祐準君 四年デ出來ヤウト云フ信用ヲ置イテアリマスカ、又願ヒ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 四年デ出來マス、又是非ヤラセタイト思ヒ...

○男爵千家尊福君 急用デアリマス、無論此一千哩ノ中テ函樽鐵道ト云フモノハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 急用デアリマス、無論此一千哩ノ中テ函樽鐵道ト云フモノハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 急用デアリマス、無論此一千哩ノ中テ函樽鐵道ト云フモノハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 急用デアリマス、無論此一千哩ノ中テ函樽鐵道ト云フモノハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○男爵千家尊福君 急用デアリマス、無論此一千哩ノ中テ函樽鐵道ト云フモノハ...

○政府委員(男爵北垣國道君) 北海道ノ鐵道敷設法案ニ上テ居リマス...

○政府委員(男爵北垣國道君) 何レ十年ノ後ニナリマス、十年ヲ經マシテ後ニナリマス、今カラ見込ヲ立テマスレバ……
○議長(公爵近衛篤磨君) 最早御質問モ盡キタヤウデアリマスカラ次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 此案ハ矢張北海道ノコトデゴザイマスカラ前ノ議案ニ御選ビニナッタ委員ト同一ノ委員ニ付託ヲシタイト云フ動議ヲ提出シマス

○子爵曾我祐準君 贊成致シマス、至極適當ノコト、思ヒマス
○子爵曾我祐準君 本員ハ適當ト思ハヌ、北海道ハ北海道デスケレドモ大分筋ガ違ヒマス、且ツ餘程一方ノ方ハ時間ヲ要スル案ダラウト思ヒマス、是ハドウゾ別ニ委員ヲ選ブコトヲ希望シマス、ノモナラズ其選ビ方ハ議長ニ御任セ申シタイト考ヘマス

○久保田讓君 曾我子爵ニ贊成
○男爵中川與長君 曾我子爵ニ贊成
○子爵鍋島直彬君 曾我君ニ贊成
○男爵千家尊福君 曾我君ニ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) サウスルト小松男爵カラ此案ハ前ノ第四ノ日程ノ委員ト同一ノ委員ニ付託シタイト云フ説ガ出マシタ、又ツレニ曾我子爵カラ是ハ又別ノ委員ヲ議長ノ指名ニシタイト云フ説ガ出マシタ兩様ゴザイマスカラ決ヲ採リマス、小松男爵ノ同一委員ト云フ方ノ説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數
○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、曾我子爵ノ説ニ御不同意ガナクバ其通ニナッテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト述フル者アリ)
然ラバ其通りニ決シマス、第八公立圖書館費國庫補助法案外山正一君發議第一讀會

(有賀書記官朗讀)
公立圖書館費國庫補助法案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治三十年二月二十三日

發議者 外山正一
贊成者 伯爵 正親町實正
外六十九名

貴族院議長公爵近衛篤磨君
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參考ノタメ茲ニ載録ス)
公立圖書館費國庫補助法案
公立圖書館ノ事業ヲ獎勵スル爲ニ國庫ハ毎年度金拾萬圓ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

第一條 公立圖書館ニシテ文部大臣ニ於テ公益上必要ノモノナリト認ムル
第二條 公立圖書館ニシテ文部大臣ニ於テ公益上必要ノモノナリト認ムル

貴族院議事速記録第十二號 明治三十年二月二十六日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

トキハ其ノ圖書館ニ補助金ヲ交付スヘシ
府縣内教員ノ利益ヲ目的トシタル團體ニ於テ設置スル教育圖書館ハ文部大臣ノ特別ノ認定ニ依リ前項ニ準スルコトヲ得
第三條 各圖書館ニ交付スル補助金ハ其ノ設立者ノ負擔額ト同額以內ニ限ル

第四條 補助ヲ受クヘキ圖書館ハ文部大臣ノ認可シタル館則ニ依リ及同大臣ノ定ムル必要ノ條件ヲ充タスモノニ限ル

第五條 此ノ法律ニ依リ補助ヲ受クル圖書館ノ設立者ハ補助年其ノ圖書館經費ヲ繼續支出スルノ義務アリ

第六條 各圖書館ニ補助金ヲ交付スルハ五箇年ヲ以テ一期トス滿期ノ後必要ニ依リ仍之ヲ繼續スルコトヲ得但シ文部大臣ニ於テ圖書館ノ管理不適當ナリト認ムルコトキ又ハ第四條其ノ他文部大臣ノ定ムル所ノ規則ニ違背シタルトキ又ハ第五條ノ義務ヲ盡スコト能ハサルトキハ補助年其ノ期間ト雖補助ヲ廢止若ハ停止スルコトヲ得

第七條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
附則
第八條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

(外山正一君演壇ニ登ル)
○外山正一君 昨年本員カラ帝國圖書館設置ニ關スル建議案ヲ政府へ提出シマシタ、幸ニ其議ヲ容レラレマシテ今年ハ其豫算モ出來マシタト云フヤウナコトデアリマス、而シテ斯ノ如ク速ニ採用ニナッタト云フノハ固ヨリ此興論ヲ政府デ容レラレタト云フコトデモアリマセウシ又一方ニ於テハ文部省ニ於テモ此帝國圖書館ノ必要ナルコトハ豫テ認メラレテ居ルト云フコトデアラウト思ハレル、ソレ故ニ斯ク速ニ此議ヲ採用セラレタコトデアラウト思ヒマス、而シテ今年又此公立圖書館費國庫補助法案ト云フノヲ提出致シマシタ、ドウカ之ガ諸君ノ御贊成ヲ得且ツ兩院ヲ首尾能ク通過シテ法律トナッテ行ハレルコトニナリタイト云フコトヲ願フノデアリマス、之ヲ建議ト致シマセヌデ法案トシテ出シマシタノハ政府ニ於テモ今マデツレ程マダ考ヘテ居ラレヌコトデアラウカニ思ヒマス、ソレ故ニ或ハ建議デ出シマシテハ隨分又採用マデニハ時ノ長ク掛ルコトデアラウカト懸念致シマシタ、然ルニ斯ノ如キ法案ガ立チマシテ地方ニ圖書館ノ起ルコトノ必要ト云フモノハ本員ナドノ考デハ實ニ是ハ急務デアラウト思ヒマス、斯ノ如キ法案ヲ以テ之ヲ獎勵スルコトハ一日モ早クナシタイト斯ウ思ヒマス、ソレ故ニ段々ト贊成ヲ願ヒマシタ所ガ七十名程モ議員ガ贊成ヲシテ下サルヤウナコトデアリマス、ドウカ此法案ノ首尾能ク通過スルヤウニシタイト希望致シマス、ソレニ就キマシテ此理由書ニモ述ベテアリマスル通此圖書館ト云フモノハ教育ノ機關ト致シマシテハ學校ト共ニ必要ナルモノデアリマシテ學校ガアレバ圖書館ノ方ハ後ト回シニナッテモ宜シイト云フヤウナ性質ノモノデゴザイマセヌ、ソレデ圖書館ト云フモノハ或ハ己入ヲシテ自由ニ教育ヲ受ケシムルニハ最モ必要ナル機關デアラウト思ハレマス、學校デ或ル程度マデ教育ヲ受ケマシテモ又其上ニ教育ヲ受ケントスルノニハ圖書館ニテモ就イテ教育ヲ受ケナケレバナラヌコトデアラ、又學校ニ就テ教育ヲ受ケルコトノ出來ナイ者モ圖書館ニ就テ教育ヲ受ケルコト云フコトニナリマス、其外又特別ノ研究デモシタイト云フ者ノタメニハ圖書館ガ

公立圖書館費國庫補助法案 第一讀會 八三

固ヨリ必要ナル、又何カ此實業ノコトデモ軍事ノコトデモ其外種々ノコトニ就キマシテ今日世界ニ於ケル所ノ其事ニ關スル事情ハドウ云フモノデアラト云フヤウナコトヲ調ベルニモ矢張圖書館ニ於テコレニ必要ナル所ノ材料ガ備ヘテアルト云フコトデナケレバ到底出來ヌデアリマス、ソレデ是等ノコトハ今更喋々スルノ必要ハゴザイマセヌカラスシテモウ其理由ト云フモノハ何人モ認ムル所ノ理由デアリマスカラスシテモウ其理由ト云フモノハ今日我邦ノ段々ト諸般ノ事ニ於テ進歩シテ來ル際ニ於キマシテ最モ後レテ居ル所ノ事業デアラウカト思ハレマス、其理由ヲ聊カ述ベマスコトヲ致シ且ツ此外國デアドノ位圖書館ト云フモノガ盛ニナツテ居ルカドノ位圖書館ノ事ニ身ヲ入レテ居ルカドノ位金ヲ費シテ居ルカト云フコトヲ少シ諸君ノ御耳ニ入レヤウカト思ヒマス、ソレデ圖書館ノ中デ以テ此案ニ關係シマス所ノモノデアリマス、公立圖書館ト云フモノハ、自由圖書館ト云フヤウナ性質ノモノデアリマス、ソレデ其帝國圖書館ト云フヤウナ國家ニ大機關トシテ設ルト云フヤウナ性質ノ圖書館デゴザイマセヌ、デ國家ノ中ノ種々ノ部分ニツレツレ其事情地方ノ狀況ニ依ツテ設立ニナツテ來ル所ノモノデアリマス、此種類ノ圖書館ノ必要ヲ段々ト各國ニ於キマシテハ認メタルヤウニナツマス、此類ノ圖書館ノ數十年カラ此ノ如キ圖書館ノ必要ヲ認メマス、千八百五十年ノ頃カラシテ此ノ如キ圖書館ガナケレバナラヌト云フコトデアラハ法律ナドヲ段々拵ヘテ參リマス、其法律ト云フモノハドウ云フ性質ノモノデアラカト云フト地方デ以テ其地方ノ經濟デ租稅ヲ以テ圖書館ヲ地方々々ニ起スト云フト許ス法律デアアル、其許可的ノ法律ヲ起スト云フトサウスルトツレニ依ツテ稅ヲ課シテ圖書館ヲ立テルト云フコトニナルデアリマス、其法律ガ出來マシメ時ヨリシテ西洋諸國ニ於テハ此種類ノ圖書館ノ出來タコトガ實ニ非常ナ數デアリマス、其數ヲ申シマスルハ此英國ノ中デいんぐらんズト申ス部分ニハ倫敦市ヲ除イテ二百八十八箇所此種類ノ圖書館ガアリマスソレカラ又其ウける及あひらんど、をふ、まんト云フ部分ニハ十六箇ノ法律圖書館ガアリマス、すこつとらんぞん、ハ二十二箇ノ法律圖書館ガアル、わいるらんぞんハ十三箇ノ法律圖書館ガアル、倫敦ニハ一ツノ市デアツテ之ニ四十一箇ノ法律圖書館ガアル、ソレカラ亞米利加合衆國ニ於キマシテ自由圖書館即チ別ニ其閱覽權ト云フモノヲ得ルタメニ金ヲ拂ハナケレバナラヌヤウナコトナシニ唯其圖書ヲ見セル自由圖書館ノ種類ガ實ニ著シイコトデアアルソコデア一洲デ以テ三四十ヲ有スルモノハ少ナカラヌデアアル、中ニハ一ノ洲デ以テ數百ノ此ノ如キ圖書館ヲ持ツテ居ルモノアル、ソレカラ佛蘭西ノ如キモ此種類ノ圖書館ヲ起スコトガ實ニ盛ニナコトデアリマシテ千八百九十三年ニハ巴里市ダケテ六十六箇モ此種類ノ圖書館ガアツタノデアアル此ノ如ク盛ニナコトデアラハ其外商業上ノコトデアアルトカ或ハ築港デアルトカ云フヤウナコトニハ段々ト非常ニ進歩ヲ爲シテ來ル、殊ニ戰勝ノ結果トシテ非常ニ諸般ノコトガ發達シテ來ル際ニ於テ獨リ圖書館ノコトハ依然トシテ或ル地方ノ如キハ實ニ此事ニ於テハ暗國世界ノ有様デアアル、ソレカラシマシテ此圖書館ノコトニ就キマシテハ或ハ他ノ諸般ノコトガ斯ク進歩スルニ引換ヘテ維新後ニ於テ却ツテ其退歩ヲシタト云ツテ宜イ位デアラウト思ハル、ソレハ維新前ニ於キマシテ各藩

ノアリマシタ時分ニハ其藩々ニ公立ノ學校ト云フヤウナモノガアツテ其學校ニ附屬シテ居ル所ノ公立ノ圖書館ト云フヤウナモノガアツタノガ多イデアリマシテ、其當時ノ知識ニ適當ナル所ノ研究ヲ爲スト云フヤウナ途ハ當時ニ於テハ自カラ其備ハテ居ッタヤウナコトデアアル、然ルニ維新後ニ於テ此廢藩置縣ト云フヤウナコトニナリマシテカラハ其地方々々ノ公立ノ學校ガ昔シ風ノ公立ノ學校ト云フモノガナクナツタニ伴ツテ此公立ノ圖書館ト云フモノモナクナツテ仕舞ッタデアアル、ソレデ今日デハ高等學校デアアル所ハ其學校ニ就イテ居ル所ノ圖書館ノ誠ニ微々タルモノハアリマスルガ其外ノ場所ニ於テハモウ圖書館ノコト、云フモノハ丸デ其暗ト云ツテ宜イヤウナコトデアアルデアアル、昔シアツタ其諸侯ノ書物モドチラヘカ仕舞ツテアルヤウナコトガ随分多イデアラウト思ハル、ソレ故ニ其斯ノ如キ法律ヲ設ケテ圖書館ヲ起スコトノ必要ハ實ニ迫ツテ居ルコト、思ハレマス、ソレデ地方デ此市町村ガ其地方稅ヲ以テ圖書館ト云フヤウナモノヲ設立スル所ノ權利ト云フモノハ既ニ持ツテ居ルノデアアル、持ツテ居ルニモ拘ラズ今日マデ斯ノ如キ必要ナル教育機關ヲ設立スルコトガ絶エテナイト云フノハ何ニ依ルカト云フト金錢上ノ利害ノ直接ニ分ラヌコトニハ今ハ冷淡デアアルト云フコトデアアル、然ルニ金錢上ノ利害ノ直接ニ分ラヌコトニハ今ハ冷淡デアアルト云フコトデアアル、然ルニ金錢上ノ利害ノ分ラヌヤウナ教育カラ起ツテ來ルノデアアル、商業上ノ繁昌モ戰爭ノ勝利モ惡疫ノ豫防モ教育ト云フ直接ニ金錢上ノ利益ノ分ラヌヤウナ此方便ヲ以テスルニアラズシテ出來ヌコトデアアルデアリマス、ソレ故ニ此ノ如キ必要ナル教育機關ヲ起シ、ニハ今日ノ所ニ於テ先ヅ國家デ以テ獎勵法ヲ設ケルヤウナコトヲ爲シ、而シテ是ガ數年ノ後地方キニ此獎勵法ト云フモノハ改メテモ宜カラウカト思フデス、ソレデ或ハ外國デアド置クモノガ隨分アリハセシカ外國デアハ斯ウト云フ圖書館ト云フモノハ私立デアド置クモノガ隨分アリハセシカ外國デアハ斯ウト云フ圖書館ト云フモノハ私立デアド置クモノガ隨分アリハセシカ外國デアハ斯ウト云フ圖書館ト云フモノハハナイカト云フヤウナ疑モアルカト思フデス、ソレ故ニ其事ニ關シテ少シ調ベタ所ヲ御話ヲ致シマスルハ此亞米利加ナドガ最モ宜イ例デアリマスガ亞米利加ノ合衆國ニ於キマシテハ教育ナドノコトニ附イテ富貴ナル人ガ其寄附金ナドヲスルヤウナコトガ非常ニ多イデアアル、ソレ故ニ亞米利加ニ於テ圖書館デアルトカ學校デアルトカ云フヤウナモノガ富貴ナル人ノ寄附金ニ依テ自然ニ起ル所ノモノハ實ニ多イコトデアリマスルガ其亞米利加ニ於キマシテモ公費ヲ以テ立テ、アル所ノ圖書館ト云フモノハ實ニ多イデアアル、例ヘバまっさちうせつツト云フ州ニ於キマシテ自由圖書館ト云フモノガ二百十二アリマス、二百十二ノ内デ以テ百七十九ト云フモノハ即チ租稅ヲ以テ立テ、アル圖書館デアアル、にうはんぶいあト云フ所ニハ四十二自由圖書館ト云フモノガアリマスガ其内ノ三十四ト云フモノハ租稅ヲ以テ立テ、アルノデアアル、いりのぬすト云フ所ニハ四十二アリマスガ其内ノ三十五ト云フモノハ租稅ヲ以テ立テ、アルモノデアリマス、みーがんと云フ州ニハ三十八自由圖書館ト云フモノハ租稅ヲ以テ立テ、アルノデアアル、紐育ニハ二十四自由圖書館ガ

リマスガ其内ノ十一ト云フモノハ公費ヲ以テ立テタモノデアアル、いんである
ト云フ所ニハ二十三自由圖書館ガアツテ其内ノ十三ト云フモノハ公費ヲ以テ
立テタモノデアアル、かりほるにハ二十一自由圖書館ガアツテ其内ノ十八ト云フ
モノハ租稅ヲ以テ立テタモノデアアル、おほいニハ二十一自由圖書館ガアツテ
其内ノ十一ハ公費ヲ以テ立テタモノデアアル、ちるるもんハ十五自由圖書館
ガアツテちるるもんハ如キハ一番公費ヲ以テ立テタモノデアアル、少イ
ノデアアルガ全クナイト云フ譯デハナイ、ソレカラシテめいんト云フ所ニハ
十四アツテ其内ノ八ツガ租稅ヲ以テ立テタモノデアアル、すいすこんんニハ九ツ
アツテ九ツトモ公費ヲ以テ立テタモノデアアル、かんさすニハ九ツアツテ其内ノ
七箇ガ租稅ヲ以テ立テ、アルト云フヤウナコトデアアル、ソレカラシマシテ又
其金ノ高ガドノ位州々ニ依ッテ此種類ノ圖書館ヲ立テタメニ費スカ經費ト
云フモノハドノ位デアアルカト云フト是モ隨分其驚クベキ分量デアアルノ例ヘ
バかりほるにハ一萬二千圓以上ノ圖書館ガ三箇アル、而シテ其一番經費
ノ多イモノハドノ位掛ルカト云フト八萬圓ノ經費デアアル、ソレカラシテいり
のいすニハ五千圓以上ノモノガ九ツアリマス其内ノ一番經費ノ多イノガ二十
五萬圓デアアルト云フヤウナコトデアアル、ソレ等ノ統計
ヲマダ段々陳ベレバアリマスルケレドモ先ヅ此位ニシテ止メテ置クコトニ致
シマセウト思ヒマス、ソレデ此法案ニ就キマシテハ私ハ文部大臣ノ配下ニ
居ル者デアリマスルニ依テ議會ニ於キマシテ此ノ如キ案ヲ出スニモ固ヨリ獨
立ノ考デアリマスルケレドモ矢張當局大臣ナゾノ意見ト餘リ違フヤウナコト
ガアツテモ却テ面白カラヌ結果ガアルカラ鄭重ニ爲シ成ルベク事ノ成就スル
ヤウニト思ヒマス、ニ依テ豫メ當局大臣ノ御耳ニモ之ヲ容レテ置イタ譯デア
ル、ソレデ何カ不都合ナコトガアルナラバ伺ヒタイト云フコトヲ申シマシタ
所ガ別ニバ固ヨリ結構デアアルト云フコトノ御答ガアリマシタ、是ハ實ニ私ハ
ガ出來レバ固ヨリ結構デアアルト云フコトノ御答ガアリマシタ、是ハ實ニ私ハ
喜ニ堪エヌコトデアアル、ソレデ私一人ガ内證デアラフ大臣ニ聽イテ來タト云フ
コトデナク其時ニハ矢張確カナル此貴族院議員ノ一人ガ其處ニ矢張居タ譯デア
アリマスカラシテ私ノ申スコトハ決シテ嘘デハナイノデアリマス、ソレカラ
シマシテ此法案ニ就キマシテハ或ハ經費ハドウスルカ何モカモサウ國庫カラ
シテ金ヲ出スコトガ出來ルカト斯ウ云フヤウナ隨分質問疑ヒモアルデアラウ
ト思ヒマス、併シ私ハ決シテ此ノ如キ獎勵法ヲ以テ何モカモノ中ニ入レルコ
トハ承諾セヌノデアアル、決シテハ何モカモト云フヤウナ性質ノモノデアナイ、
殆ド如何ナルコトヲ措イテモ斯ノ如キ獎勵法ハ設ケナケレバナラヌト思ヒマ
ス、又國家ノ經費ノ權衡上カラ言ヒマシテモ軍費ハドノ位費スカ其他ノ事業
ニハドノ位費スカト云フコトヲ考ヘテ見テ此僅ナル十萬圓ト云フヤウナ金
ヲ以テ大切ナル教育ノ機關ヲ獎勵スル途デアアルニ依テ決シテ是ハ多ナルコト
トハ言ヘヌ、ソレカラシテ十萬圓ト云フ呼聲ニ恐レテ十萬圓ハ多イデアナイ
カト云フ考ヲ爲ス人ガアルカモ知レヌ、併シ是ニ就テモ大ニ辯解ヲシナケレ
バナラヌト云フハ元ト十萬圓ト云フハ府縣ニ皆補助金ヲ仰グヤウナ圖書
館ガアツテツレデツレノ一縣モ殘ラズ補助スルト云フヤウナコトデア
レバ十萬圓ト云フモノガ要リマスルケレドモマダ全國斯ウ云フ種類ノ圖書館
ガナイノデアリマスカラ是ハ興ルニ應ジテ獎勵シテ往カウ興サセルタメニ獎
勵シテ往カウト云フコトデアリマスルニ依テ先ヅ最初ニハ千圓要リマスカ、

二千圓要リマスカ、二千圓要リマスカ、僅ナコトデアアル、ソレ故ニ
此ノ如キ法案ヲムヤミニ出サレテハドウモ困ルト云フヤウナコトガナカラウ
カト思ハレル、ソレカラシマシテ又政府ハ此軍備ノミナラズ教育ニモ重キヲ
置レル所ノ政府デアリマスルニ依テ斯ノ如キ法案ハ喜ンデ歡迎セラレルコト
デアラウト思フ、ソレカラシマシテ又行政整理ナドト云フコトニモ著手ヲシ
テアリマスニ依テ其行政整理ノ結果トシテ二千圓ニ儉約ガ出來ヌコト
ハアルマイト思ヒマス、ニ依テ財政上ノ不都合ト云フコトモ或ハナカラウト
思フ、又法律案デ此何圓ト云フヤウナコトヲ規定スルハ不都合デアアルト云
フヤウナ意見モ或ハアルカモ知レマセヌ、ケレドモ既ニ此ノ如キ法案ガ出テ居
ルノデアアル、現ニ彼實業教育國庫補助法ト云フヤウナモノニ於テモ此法案ト
同シヤウニ十萬圓ト云フコトガ規定シテアルノデアリマス、ソレデマダ私ノ
方デハ幾ラデモ陳ベマスレバ陳ベタイヤウニ思ヒマスルケレドモ却テモウ諸
君ニ於テハ既ニ御贊成下ダスツタコトデアリマスルニ依テ諸君ニ對シテ喋々
スル必要ハナイコトデアアルカラ是デ陳ベマセヌガドウカ此法案ヲ委員ヲ設ケ
テ鄭重ニ審査スルトモ或ハ直ニ二讀會ニ移ルトモ何レニトモ御決シ下ダス
テサウシテドウカ通過シマシテ衆議院ニ回ッテ法律案トナッテ效ヲ奏スル
コトヲ希望致シマス

○久保田讓君 私人委員付託ノ動議ヲ提出致シマス、チヨット其事ヲ簡單ニ
申シマス本員モ贊成ノ一人デゴザイマス勿論教育上急務ナル所ノ事業ノ一ト
認メテ贊成ヲ致シテ居リマス、併ナガラ教育ノ事業ハ獨リ圖書館ニ止マラ
ズ、小學ノ教員ガ二萬人モ不足シテ教員ノ俸給ガ少クテ飢ヘカ、ソレ居ル者
モアル隨分急務ナコトハ山ノ如クアリマスカラ果シテ是デ其事ト平衡シテ並
行ハル、ヤ否ヤト云フコトハ餘程詳シク審査ヲ要スルコト、考ヘマスカラ特
別委員ニ付託シテ詳細ニ調査ヲシタイト云フ意見デアリマス、委員ハ定數ノ
通テ議長デ御選擇アルヤウニ致シマス

○子爵曾我祐準君 贊成ヲ致シマス

○小原重哉君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 此法律案ニ就テ久保田君カラ委員ヲ設ケタラ宜カ
ラウト云フ動議ガ出マシタ贊成ガアリマスニ依テ御異議ナクバ……

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公曾近衛篤磨君) 委員ハ後ニ御報知致シマス第九、古墳墓保護ニ關
スル建議案、外山正一君發議、會議……

○久保田讓君 議長モウ十二時デスガ是ニ就テハ修正シタイ考モアリマスニ
依テ手間取ラウト思ヒマス、休憩ニデモナリマシテハ……

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ休憩ニ致シマス

午後零時八分休憩

午後一時一分

○議長(公曾近衛篤磨君) 前刻御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ朗讀シマ
ス、北海道國有未開地處分法案審査特別委員、永山盛輝君、男爵小澤武雄
君、男爵船越衛君、調所廣丈君、男爵藤村紫朗君、湯地定基君、南郷茂光

